

2018年(平成30年)

第124号

(4月1日)



発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 田中規之
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

教団創立 80 周年記念式典 ～100 周年に向けて新たな一歩～

3月5日、「創立80周年記念式典」が大聖堂をはじめ全国の各教会で挙行されました。大聖堂での式典には、会員約4000人が参集しました。法話に立った庭野日鏡会長は、「仏教精神をひろめ、人を救い、世を立て直す」という庭野日敬開祖の本会創立の精神をかみしめるとともに、教団創立100年に向け、新たな心で布教伝道に取り組む重要性を説かれました。式典の様子は国内外の教会・拠点にインターネットで同時中継され、京都教会も法座席で放映しました。



- | | | |
|-------|----|-----|
| 松阪教会 | 岡 | 利枝 |
| 滋賀教会 | 松岡 | 利江 |
| 京都教会 | 小倉 | 快哲 |
| 舞鶴教会 | 榎本 | 好延 |
| 福知山教会 | 西躰 | 淑公 |
| 大阪教会 | 宮田 | 亜希子 |



式典に先立ち、会員特別功労者の名簿が流れ、京都教会・洛叡支部の小倉快哲さんの名前が現れると法座席は大きな拍手で包まれました。

式典中、日本カトリック司教協議会会長で、世界宗教者平和会議(WCRP/RfP)日本委員会の理事を務める高見三明カトリック長崎大司教と、天台宗の森川宏映第二百五十七世天台座主が登壇し、祝辞を述べられました。

大聖堂からのインターネット放映後、佐藤教会長は2人の来賓の祝辞にふれ、庭野開祖の「庭野日敬自伝」「平和への道」「この道」の中のエキスとなる所を話し

私たち会員自身が振りかえなければならないところであると解説。常に修行精進に励まなければならないと結びました。

またこの日は夜間式典も実施。青壮年部を中心に約50名が参拝し、日中のインターネット放映の録画を拝見しました。佐藤教会長は会員特別功労賞の小倉さんを紹介。コツコツと三条通のゴミ拾いや、数年前に行われた「アームズダウン」(核兵器廃絶の署名)に一人で8,600名余りをされたこと、森川天台座主と個人的に連絡が入る間柄であることなどを披露。

最後に庭野会長の法話にあったように「これから」という気持ちを大切にご法精進していきたいと結びました。

出てはいいかがでしょうか。自然の息遣いを感じて、元気に閉じこもっていた人も、来る。春の到来はそう告げているようです。寒さで家々も、必ず良くなる時が出てきます。花が一斉に咲き出すと、自然も人もすべてが活動的になるようです。▼つらい時、苦しい時があるとしても、必ず良くなる時が出てきます。春の到来はそう告げているようです。寒さで家々に閉じこもっていた人も、自然の息遣いを感じて、元気に閉じこもっていた人も、

▼一方、桜の開花予想は早くも一月に発表されます。寒中行事のひとつですが、寒い冬の中にあり、春の訪れを待つ人々に希望を与えるものになっているのではないのでしょうか▼童謡「春よ来い」では、「赤い鼻緒の草履をはいて外へ出たがっている子供」を歌います。花が一斉に咲き出すと、自然も人もすべてが活動的になるようです。▼つらい時、苦しい時があるとしても、必ず良くなる時が出てきます。春の到来はそう告げているようです。寒さで家々に閉じこもっていた人も、自然の息遣いを感じて、元気に閉じこもっていた人も、

時事刻々

先月二十一日に、京都地方気象台が、桜の開花を発表しました。昨年より九日早い開花宣言となりました。この調子でいくと、今年の満開になるのも早くなりそうです。▼各地で桜の開花を決める木のことを、標本木といい、京都では二条城内にあります。その木が五輪以上花を咲かせると、開花したと発表します▼

今月のことば ～円満な人になる～

乙訓支部女子部 堀内 優

今月の担当は乙訓支部女子部員の堀内優です。よろしくお願ひ致します。

校成4月号の会長先生のご法話は「円満な人になる」です。このご法話を拝読して、私は心の中でハッとすることが沢山ありました。

職場で挨拶をする時、丁寧に挨拶をする。忙しい空気の中でも丁寧な挨拶をするとありました。それを読んで心の中でハッとする自分がいました。自分は忙しい空気の中でも、きちんと相手の目をみて丁寧に挨拶が出来ているだろうか。改めて自分の挨拶がどうだったか考えさせられました。

文を読み進めていくと、すれ違いざまに挨拶を交わしていた人たちがそれぞれ相手と向き合って挨拶をするとありました。しばらくすると職場の雰囲気や和やかになったと書いてありました。それを読んで、挨拶は人と人との大事なコミュニケーションだと改めて気づかされました。

挨拶は朝一番、特別な日ではなくても、気持ちの良い丁寧な挨拶をしてもらうと、その日一日が幸せな気持ちになれますし、された側も気持ちの良い挨拶ができます。“幸せの伝染”のようなものにも感じられます。私は職場を通して、言葉が通じなくても目を見て笑顔になれば相手にはきちんと気持ちが通じていると思っています。

私は美容部員として店頭で働いていますが、最近は日本人のお客様の他に海外のお客様で、特に中国の方が多数来店することが多いのですが、当然私は中国語を話せませんので、通訳の方が間に入らないと会話が成立しません。しかしその中でも、通じないから何もしないではなく、きちんと相手の目を見て笑顔になれば上手く会話が出来なくても通じ合うことが沢山ありました。

挨拶と笑顔は人を幸せにする魔法のように感じました。その魔法は誰にでもできる簡単でシンプルなもの。私が心掛けていることは、こちらがきちんと挨拶して、もし相手にムスッとされても、そこで「どうして挨拶しているのにそんな態度なの？」と思うのではなく、相手にも事情があるんだろう、と思うようにしています。すると自然とそれに対する怒りが出てきません。

相手に寄り添うことも大切なことだと思います。そうすると不思議と後から相手から「さっきはごめんね。実はこういうことがあって…」とその人の事情を知ることが出来たりすることがありました。もちろんそうでない場合も沢山あります。でも、丁寧な挨拶をして損なことにはならないと思います。この春、初めての後輩が入ってきます。私は気持ちの良い挨拶で後輩を迎えてあげたいと思います。

もう一つ。「悲しみを知る人に」のところを読んで、私はハッとしました。それは「清九郎」とう方のところ。その人は江戸時代に住んでいた人で妙好人です。「留守宅にあったお金を盗まれたとき『私のような者の家に盗みに入るその方は、よほどお金に困っていたのでしょう』』と言ったそうです。私は目を疑い、二度ほど読み直しました。自分が不幸にあっていてもかかわらず、相手を憎むどころか、相手の気持ちになって言っていることに対して清九郎の人間性に度肝を抜かれました。

そして話しを読み進めていくと「困難が教えてくれる『感謝の種』』という言葉にも心をうたれました。どんな困難があっても感謝の心を忘れないということが人として理想だなと感じました。こういう方々の心には仏さまに生かされていることへの感謝と人に対する慈悲、思いやりがあるばかりです。自分一人では生きていないということを改めて感じました。 合掌

私の手取り修行 ～ある主任さんからの報告～

皆さんのお陰さまで主任をさせて頂いています。支部婦人部長から現在に至るまで早くも数十年が経ち、私のおじいちゃんやおばあちゃんくらいの年齢の方までのお手取りを通して気付いたことがあります。

あるおじいさんは昨年亡くなりました。昔によくお話されていたのを今では懐かしく思い出します。アルコールのお好きな方で酔っぱらうと迎えに来てくれるとよく電話があり、時にはお風呂屋の行き帰りに連絡があったり、戦争の話をして下さったり…。船の料理長をなされていたそうです。

ご家族にとっては重たいおじいさんだったようで、嫌われ者のおじいちゃんでした。だけど明るい方でし

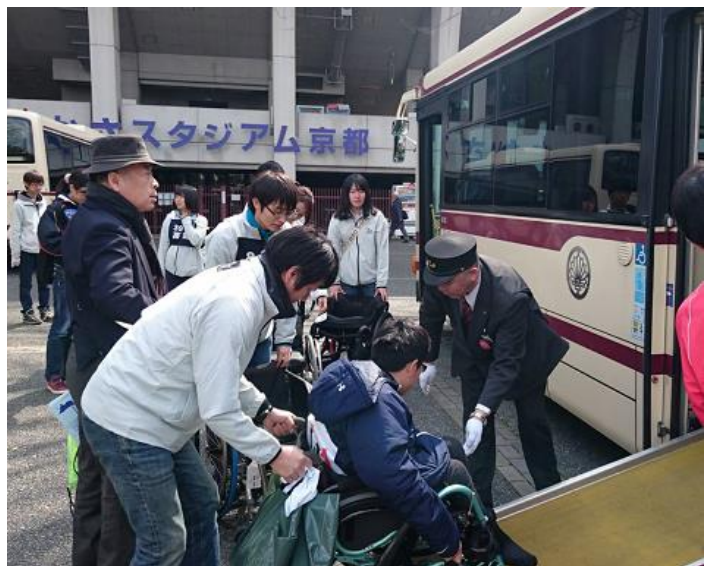
た。支部の御彼岸会に来てくれて、お役も楽しくして下さったりしていました。「わしがなくなったら何時も葬式は頼むで」と何時も言っていたことを思い出します。昨年亡くなられた時、私はお役をさせて頂きました。今では娘さんがご法の継承をされ、親の姿をみて親孝行と先祖供養をされています。



全国車いす駅伝競走大会 2018 ～選手の受け入れボランティアに青年部～

3月11日、「全国車いす駅伝競走大会 2018」が開催され、都大路を駆ける選手の受け入れボランティアを青年部が行いました。

前日の10日は全国から集結される選手を宝ヶ池国際駐車場に待機、誘導。自家用車で長距離を自ら運転して来られた選手に「ご苦労様です」の声をかけを行い、おもてなしをしました。到着までの待ち時間が長かったため、時折、大なわとびをして体を温め、常に笑顔の対応が出来るように準備。午前中から行った受け入れは夕方近くまでかかりました。



大会当日の11日は西京極運動競技場で、選手が日常使用される「常用車いす」の運搬作業。選手とのふれ

あいは少なかったものの、ゴール直前の様子を間近で見られて声援を送りました。

今回のボランティアに参加した青年部員は、「少ししか参加できませんでしたが、初めての経験をさせてもらえて良かったです」「選手の方と、少しだけだったけど話せる機会があって楽しかった」「下半身が不自由なのに、あんなに自分のことを自分でされるとは思わなかった」「ボランティアに参加することがなかなかないので、貴重な経験だった」など様々な感想があり、多くの青年がこれからもさまざまなボランティア活動を通して社会貢献していきたいと抱負を述べました。

日常生活の中の仏教用語 ～えっ？こんな言葉も仏教が語源？～

今年から始まった新コーナー。言葉のルーツを知って仏教に親しみを持ちましょう。

【旦那（だんな）】

サンスクリット語で「布施」の意味がある「ダーナ」を音訳した言葉。「檀那」とも書く。やがて布施をする人を意味するようになった。

今では、雇われた人が主人のことを、また妻が夫をいう呼び名としても一般的になっている。

現在、お布施は法事の謝礼などの金品をいうが、古

くは修行僧の生活援助、寺の経営を助けるなどの重要なものだった。また、布施をする対象の寺を「檀那寺」という。



（「仏教早わかり百科～主婦と生活社～」から抜粋）

記事募集のお知らせ

読者のみなさんから記事や写真・絵を募集します。年齢、性別は問いません。教会までお送り下さい。

- ・桜など春の花の絵
- ・入園、入学式や卒園、卒業式の思い出

庭 野 日 敬 開 祖 法 話 集

今月は、新たな環境で新生活のスタートする人も多いのではないのでしょうか。そんな時の心構えとして、庭野開祖の法話から学んでみたいと思います。(編集部)

【だれからも好かれる人】

春四月は、新しい出会いが多い時です。とりわけ若い人たちは、職場での新しい上司や同僚との人間関係が心配で、「人に好かれる方法はないものか」と苦心している人もいると思うのですが、いちばん確実な方法は、こっちが相手を本当に好きになってしまうことです。

よく「私はどうして異性にもてないんだろう」と悩んでいる人がいますが、そういう人は、自分のいいところだけを見せようと格好ばかり気にしているのですね。すましこんだり、高尚な話をしたりして、肝心な相手を少しも見ていないのです。それよりも相手を好きになってしまうほうが早道です。人は自分に好意を持ってくれる人を自然に好きになるものなのですから。

法華経には、三十三身を現じてどんな人も救わずにおかない観世音菩薩が登場しますが、その名の「観世音」とは、相手の心、相手の願いを見通すという意味です。「私は口下手でお上手を言えないから」とあきらめている人がいますが、「愛語」とは、多く話すより聞くことを多くすることといてもいいでしょう。だれの、どんな話にも親身になって耳を傾けられるようになったら、だれからも好かれる人になります。

【三つの言葉】

大学の卒業式で、これから社会人として第一歩を踏み出す若者へのはなむけに、こんな言葉を贈る先生がおられました。

「諸君が会社に入って道を切り開いていくうえで、いちばん大事なことを教えよう。それは『おはようございます』『ありがとう』『すみません』が素直に言える人間になることだ」と。

これは毎日の生活でふつうに交わされる言葉で、人間関係を保つ基本的な言葉です。その言葉すら、いまの若者たちの多くが素直に口にできなくなっているわけです。

その先生は、大学の卒業式でそうしたアドバイスをしなければならぬ現状を、まことに情けない、と嘆いておられるのです。

ただ知識を詰め込んで卒業証書をもっただけでは、大学を出ても、社会で本当に役立つ仕事はできません。この社会を構成する人間としての心得こそが社会の潤滑油であり、それがそなわって初めて知識が役立つのです。

そうした大切な言葉が、いつもスッと口にできるようになるには、小さいうちから家庭でも学校でもしっかり教え込まなくてはならないのです。そのしつへの欠如は、本人にとっても、日本の社会にとっても、まことに不幸なことです。

【可能性は半々だから】

大勢の人の先頭に立つリーダーは、あくまでも「この仕事をやりぬくのだ」という意志、そして、「これは必ずやり遂げられるのだ」という確信が、なによりも大事です。それが、周囲の人を引っ張っていく力の源泉だからです。

リーダーは、みんなに新たな一歩を踏みだしてもらおう、その先頭に立つ人です。これから始める仕事の可能性は半々であっても、出発点で「この仕事は果たしてできるのだろうか」と迷うと、天秤は失敗のほうに傾いてしまうことが多いものなのです。

かつて「ミスター・ジャイアンツ」と呼ばれた長嶋茂雄さんは、ここぞという見せ場で必ず打つといわれたものでした。その秘訣について長嶋さんは、「そういう場面でホームランを打つ自分の姿を、いつも頭に描いていることです」と話されていました。「打てるだろうか」「いや打てないかもしれないな」と迷わないわけです。「この仕事は必ず成し遂げられる」と信じる力が、天秤を可能性のほうに傾けるのです。

信仰の世界も同じです。「この教えどおり行じれば、必ず救われます」と言いきれぬ人でなくては、人は救えません。(つづく)

4～5月の主な教会行事

4月1日(日)	9:00～	朔日参り
4日(水)	9:00～	開祖さまご命日
8日(日)	9:00～	降誕会・花まつり
10日(火)	9:00～	脇祖さまご命日
15日(日)	9:00～	釈迦牟尼仏ご命日
5月1日(火)	9:00～	朔日参り
4日(金)	9:00～	開祖さまご命日
10日(木)	9:00～	脇祖さまご命日
15日(火)	9:00～	釈迦牟尼仏ご命日

●メッセージ

創立記念日だった3月5日は朝から全国的に雨でした。京都でも時折、大雨になるほどで、午前中教会に参拝される方にとっては少々苦勞をされたかもしれません。昭和13年3月5日の創立の日は東京で小さな地震があり、「天地が喜ばれている」と皆で語り合ったと、庭野開祖が述懐。80年経って大雨の創立記念日は、天が喜びの大粒の涙をこぼされているように感じました。私たち一人ひとりが庭野開祖に倣って菩薩行を行ずる中に、天は喜んで下さるに違いありません。